

○令和6年度予算特別委員会 意見表明

日本維新の会 神戸市会議員団

日本維新の会 神戸市会議員団は、令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計53議案について、要望14件を付して承認いたします。また、予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議に関しては、反対いたします。

要望事項

1. 予算案に盛り込まれた高校生等通学定期券無償化に続き、子どもの学ぶ機会の保障の観点から給食費の無償化、教育バウチャー（塾代助成）制度の確立、学費についても兵庫県と連携の上、本市においても教育無償化を推進すること。
2. 神戸が子育てしやすい街として選ばれるためにも、近隣市と比較し優位性のある本市特有の施策については、効果的かつ戦略的な情報発信を行うこと。
3. 誰一人取り残さない「個別最適な学び」を推進するためにも、境界知能の研究と理解促進に併せて、通常学級において認知機能向上プログラムを試験的に導入していくこと。
4. 外郭団体における市OB職員の採用・報酬・在職上限は、団体に一任するのではなく、情報の透明化及び、市民に対する説明責任の観点からも本市が定期的な評価を実施し、情報公開を行うこと。
5. 庁内マニュアル等の神戸市の独自データを元に回答する生成AIを利活用する環境整備を進め、次期「行財政改革方針」にも反映させること。
6. WHO神戸センターへの年間1.4億円の運営費支援については、市民還元の観点から、初期の目的や今後の展望を再評価し、負担削減に向けた検討を進めること。
7. 神戸空港の国際化や国内線発着枠の拡大、大阪・関西万博の開催に向けて、神戸市と兵庫県の連携強化による観光施策を推進し、エアライン誘致に向けた機運醸成を図ること。
8. デジタル企画乗車券の開発やMaaSアプリの活用などで、関西MaaS協議会や民間事業者とも連携し、神戸の観光資源をシームレスに回遊できるMaaSの実現に取り組むこと。

9. 神戸空港については、2025 年の国際チャーター便の運用開始・国内線の発着枠拡大による利用増にも確実に対応できるよう、立体駐車場の整備の検討を進めていくこと。
10. 市バスの値上げを行う交通局は、不採算路線の最適化、勤務体系の抜本的な見直し、DX活用や業務効率化による経費削減など組織改革・経営改善を進めつつ、広告収入の増加などの売上向上策も着実に実行すること。
11. 危機的な経営状況にある地下鉄海岸線については、他局とも連携強化の上、ノエビアスタジアムや中央卸売市場、こべっこランドなど駅周辺の施設を最大限活用した施策を推進し、乗客増と地域活性化に繋げていくこと。
12. 医療的ケア児の増加に対応するため、受け入れ体制の強化として設備の整備を進めつつ、就労状況に関係なく利用できる「誰でも通園制度」を活用するなど、医療的ケア児を包括的にサポートする環境を整備すること。
13. 帯状疱疹ワクチン接種助成について、県に対して継続・拡充を要望の上、県市協調での実施を推進すること。
14. ひきこもり支援の相談件数の増加に伴い、入口支援だけでなく、出口支援にも焦点を当て、短期間労働や起業などの活動の場を提供するために、官民連携で取り組みを強化すること。

以上

○陳情に対する意見表明

日本維新の会 神戸市議員団は、陳情第 59 号に対して反対いたします。